

# 第43回衆院選 広歯連盟推薦候補8氏当選

## 与党絶対安定多数確保!

政権選択を最大の争点とした第四十三回衆院総選挙は十一月九日投票された。自民党は解散時の二百四十七議席を減らし過半数(二百四十一議席)を割り込んだが、前回二〇〇〇年衆院選の二百三十三議席を上回り、二百三十七議席となった。公明・保守新党を加えた与党三党で二百七十五議席となり、国会運営で主導権を握れる絶対安定多数(二百六十九議席)を上回り、小泉純一郎首相(自民党総裁)の続投が固まった。一方、民主党は都市部で順調に議席を伸ばし、比例代表では第一党に躍進。公明党は小選挙区が堅調だが、共産党は公示前の二十議席からほぼ半減した。

敗。社民党も土井たか子党首が選挙区では敗退、比例代表も含めて大幅に議席を減らし、与党の保守新党は熊谷弘代表が落選し解党、自民党に合流することになった。また愛知三区の吉田幸弘氏は次点で落選し比例での復活もならなかった。

広歯連盟では県歯連盟推薦の候補者は七小選挙区のうち、六議席を獲得した。一区では公明党の初推薦も得た岸田文雄氏が安定した戦いぶりであり、選を果した。三区では、増原義剛氏が選挙戦をスタートし、他候補を圧倒して再選を果した。四区では党国対委員長の中川秀直氏が八選、五区では保守三分裂の危機感をはねのけ、全域で手堅く票をまとめた池田行彦氏が十期連続当選を果した。六区は、連盟特別顧問の亀井静香氏が、民主党の候補の追い上げをかわし九選、七区は宮沢洋一氏が再選を果した。二区は保守分裂の構図になったのが災いし、松田仁氏は大接戦の末、敗退した。比例代表中国ブロックでは名簿一位の亀井久興、二位の河井克行、三位の加藤勝信、四位の能勢和子の各氏は当選したが、五位の松田仁氏の復活はならなかった。尚山口二区は佐藤信二氏は復活当選を果した。

1区	岸田文雄
2区	増原義剛
3区	川原秀直
4区	中川秀直
5区	池田行彦
6区	亀井静香
7区	宮沢洋一

比 例 区

河井克行  
能勢和子

平成15年  
12月1日  
第115号

発行所  
広島県歯科医師会連  
広島市中区宝町5-30  
TEL (082) 241-8020  
編集兼発行人 柘田博昭

だいにすれば永久歯、  
だいにしないといふ休  
KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80  
8020運動  
80歳で20本以上の自分の歯をもちましよう

### 衆議院選挙を終えて

広島県歯科医師連盟会長 本 山 栄 荘



去る十月十日に衆議院が解散され、ちょうど一ヶ月に亘る選挙戦が繰り広げられました。この間、本連盟の各支部部長を始め、連盟の先生方には、後援会活動から始まり、出陣式・激励会・決起大会等々、連盟推薦候補者に対し絶大なご支援をいただきました。ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。本紙をお借して心から厚くお礼申し上げます。

本年四月に新執行体制になり、各支部長には連盟役員にご就任賜り、強固な体制を敷くとともに、連盟活動にご参画いただいたこと、誠にありがとうございます。

選挙結果につきまして、自民党は解散時の二四七議席から十議席減の二三七議席に、逆に民主党は四十議席増の一七七議席を獲得しました。

選挙結果に引き続き、自民党は解散時の二四七議席から十議席減の二三七議席に、逆に民主党は四十議席増の一七七議席を獲得しました。

選挙結果に引き続き、自民党は解散時の二四七議席から十議席減の二三七議席に、逆に民主党は四十議席増の一七七議席を獲得しました。

選挙結果に引き続き、自民党は解散時の二四七議席から十議席減の二三七議席に、逆に民主党は四十議席増の一七七議席を獲得しました。

### 岸田文雄氏・松田仁氏を励ます会開催

平成十五年十月二十八日(火)午後七時三十分から県歯会館六階「ハーモニーホール」で標記の会が開催された。

山科透県歯連盟理事長の司会、谷本健二県歯連盟副会長の開会の辞で始まり、本山会長より「本日は診療でお疲れのところ岸田文雄氏・松田仁氏を励ます会をご案内申し上げましたところ多数のご出席ありがとうございました。貴重な医療の提供は健全な医院経営の要です。政治に関心をもち、投票の権利を放棄することはおかしいことです。皆様のお力添えを頂戴いたしたいと思います」と挨拶があった。

続いて中原爽参議院議員、真田幸三広島県医師連盟会長、林正夫広島県議会議長、中本弘広島市議会議長より激励の挨拶があった。その後、石橋良三広島県議会議長、中本隆志広島県議会議長、永田雅紀広島市議会議長の紹介があり、先ず岸田文雄氏より「国会



議員活動十年を迎えることが出来た。その間、建設政務次官、文部科学副大臣、自民党商工部会長、経理局長、青年局長等々、様々な役職を勤めさせていただき、ありがとうございました。これほど多くの皆様のご支えのおかげで、心から感謝申し上げます。二十一世紀を迎える今、これからの十年は、これまでの努力の上に「結果」が求められる十年だと考えます。私も、今までの十年の蓄積のもと、目に見える「結果」を示すべく、新しい時代に立ち向かっていきたいと存じます。政令指定都市の一区で自民党が勝っているところはあまりありません。この大切なとき、皆様とともに歴史に耐える政治を目指して努力していきます。政治は責任であると思っております。決意表明があった。

次に松田仁氏より「健康保険の医療自己負担比率が二割から三割に上がって大分経ちました。やはり自

衆議院議員選挙

目指します!  
実行します!!

- ◎国民の健康増進
- ◎良質な医療の確保
- ◎国民が安心して暮らせる福祉の充実
- ◎老後の生活の安定



- 昭和35年8月21日 東京生まれ  
(本籍：福井県)
- 同 54年 開成学園高等学校卒業
- 同 62年 日本大学松戸歯学部卒業
- 平成 3年 日本大学大学院松戸歯学研究科修了  
歯学博士取得
- 同 3年 厚生省入省 (保険局医療課)
- 同 4年 厚生省健康政策局歯科衛生課
- 同 8年 愛媛県保健環境部医監
- 同 10年 厚生省老人保健福祉局老人保健課
- 同 11年 厚生省保険局医療課
- 同 13年 厚生労働省医政局歯科保健課
- 同 14年 日本大学助教授  
家族：父、母、妻、長女

ふみひろ

ささき  
ひろ  
井

次期参議院議員 比例代表選挙  
日歯連盟単一候補